

2011.10.14 科学技術・学術審議会人材委員会(文部科学省)

資料1
科学技術・学術審議会
人材委員会(第55回)
H23.10.14

若手博士人材のキャリア開発支援の 指針策定に向けて

旧科学技術振興調整費「イノベーション創出若手
研究人材養成」の取組による成果と課題



北海道大学

人材育成本部 上級人材育成ステーション事業統括

大学院先端生命科学研究院 研究院長

川端 和重

科学技術人材育成費補助事業:ポスドクター・インターンシップ推進事業
平成21年～平成25年

北大パイオニア人材協働育成システムの構築

狭い専門領域に固執することなく 個々の能力を社会の
多様な活動に結びつける能力と チャレンジ精神を持った
優秀な博士人材の育成プログラムを 企業とともに開発し
産業界へのキャリアパスの構築を推進する



北大パイオニア人材育成ステーション(HoP-Station)
教授 伴戸久徳・特任教授 鷲見芳彦

人材育成本部 (若手研究者のキャリアー育成支援のための運営組織)

総長

人材育成本部

本部長(理事・副学長)

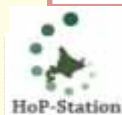
上級人材育成ステーション



S-cubic

< 研究者、教員、企業意識改革 >

企業 研究者間のリンク構築のフロント/J-window
若手研究者の情報交換のための登録制Webシステム /C-net
企業研究の魅力を知るカリキュラム/Advanced COSA
企業担当者と若手研究者の出会いの場 /赤い糸会



HoP-Station

< 実践プログラムの開発 >

博士力実践インターンシップ
キャリア形成パートナーシップ (緑の会)
キャリアマネジメントセミナー



女性研究者支援室 (FResHU)

女性が研究職として活躍できる環境整備、支援策の企画・立案・推進・展開
女性研究者・女子学生が必要とする情報提供・支援・相談のワンストップサービス
女性研究者ネットワーク、メンターネットの構築

教育研究部局
DCカリキュラム改革
教員FD

連携企業
相互理解
情報交換、人的交流
< 幕見の会 >

博士研究者の取り巻く状況（北大）

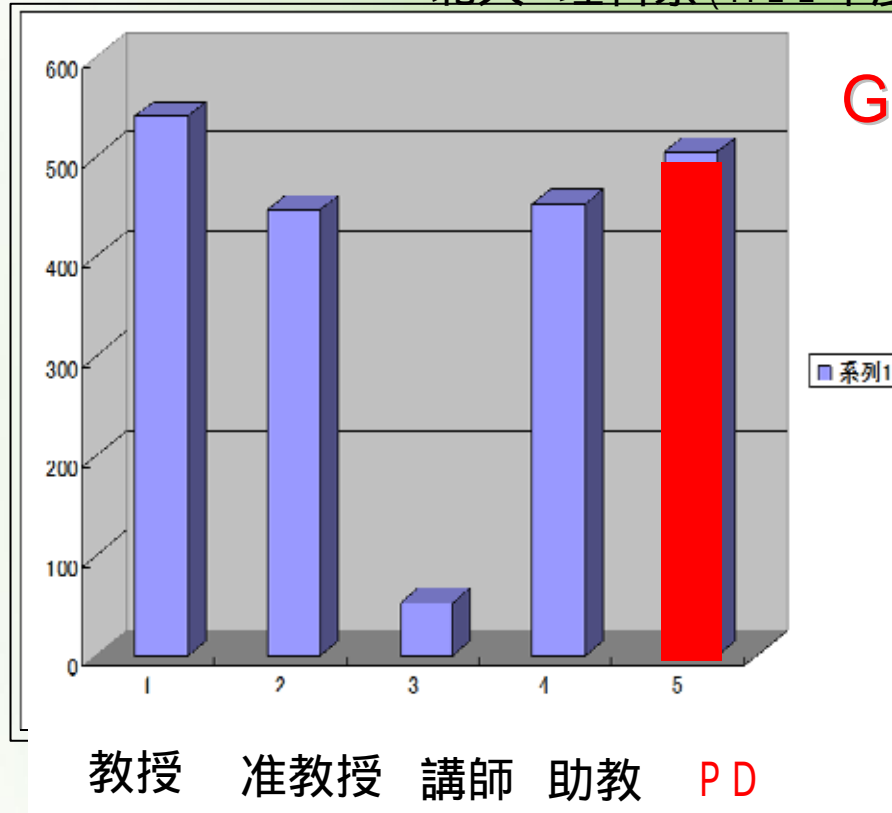
PD雇用規模

大規模機関 (1000名程度)

中規模機関 (500名程度)

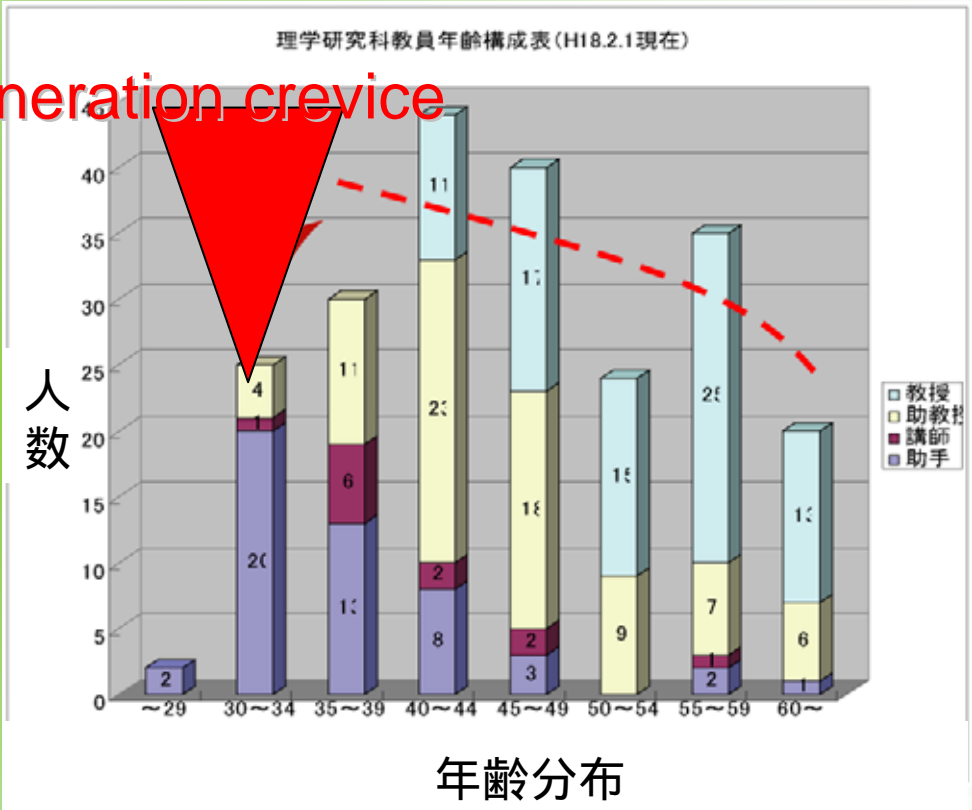
小規模機関 (50名以下)

北大 理科系 (H22年度)



北大 理学研究科

Generation crevice



すべての和 = DC数 (1873名)

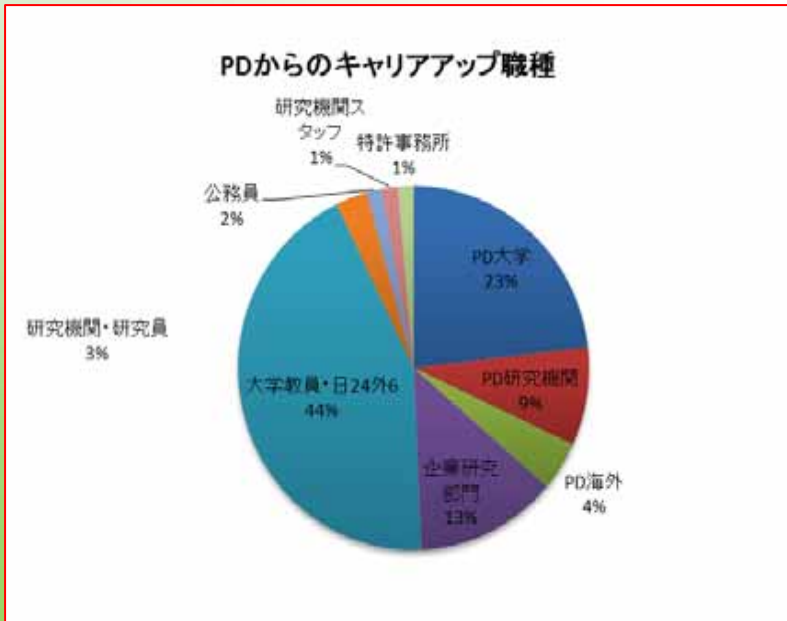
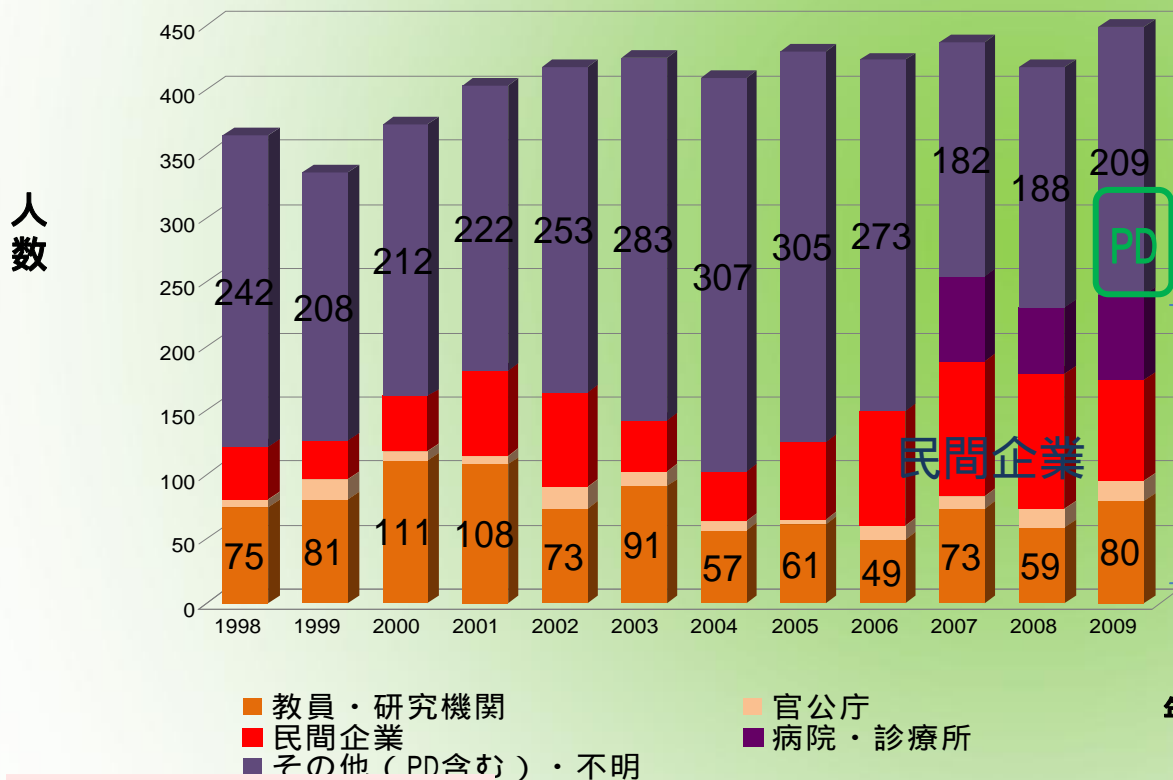
PDと同数程度の特任教員が在籍する

日本の研究推進の原動力: DC, PD

北大理系DC修了者の進路(修了直後)

キャリアパス多様化事業開始

キャリアパス事業開始
産業界への就職者数は倍増



生命科学院(生命融合科学コース)
1999~2010年DC修了者 119名 60%PD

PDはアカデミア志向:
企業就職は13%


就職: ~50%
産業界: ~25%
学界: ~15%
PD: ~25%

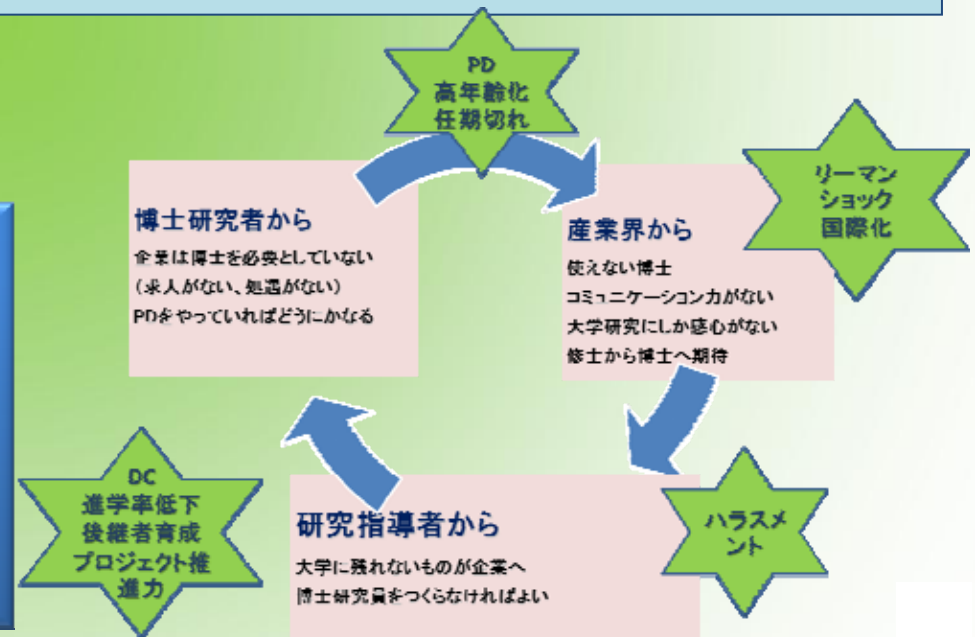
<理科系>
医学、薬学、獣医学、情報科学、
水産、地球環境、理学、農学先端
生命、工学、保健科学、総合化学

博士研究者(多数)のキャリアパスに関する認識

- 1) 科学技術専門能力は国際レベル。(国際化、実践経験等は不十分)
- 2) DC, PDの企業活躍の悪いイメージ(研究者、企業)が障害。
- 3) PDは、学界就職志向が強いため、就職準備期間。
(ただし、研究者が準備をするシステムは確立していない。)
- 4) 企業でのDC, PDの受け入れ体制(活用方法)が整っていない。
(博士の国際研究リーダー性に期待しているが採用は専門性が中心。)
- 5) DC、PD対象の就職活動方式が確立していない。

webを使った大量就職情報処理型リクルートシステムの破綻

- 
- 1) 研究者、企業、教員の博士の社会活躍に関する意識改革
 - 2) 専門性を社会活躍につなげる実践力育成プログラムの構築
 - 3) 博士対象の就職支援システムの構築
 - 4) 部局の博士課程教育実質化、PD・特任教員の採用育成システムの構築



人材育成本部(上級人材育成ステーション)の活動

博士研究者の社会活躍のための育成・支援活動
課題と対策の明確のためにすべて会員制

3者の相互理解(意識改革)

博士研究者、研究指導者、企業関係者

- ・赤い糸会 緑の会(6年目)
- ・企業訪問会
- ・S-cubic通信
- ・A-COSA(修士課程中心)
- ・SynFOSTER(若手人材育成シンポジウム)
- ・大学院入学式での活動紹介

実践型プログラムの提供

(大学院理工連携専門基礎科目)

- ・中期インターンシップ
- ・マネジメントセミナー
- ・少人数企画プログラム
- ・プレゼンセミナー等

就職支援活動

高効率マッチングのための情報・人脈提供

- ・人材Hi-system双方向web
- ・人脈形成・開拓 J-window

博士キャリア動向調査

- ・学生統計調査
- ・学生意識調査
- ・企業情報

企業の意識・採用状況の把握

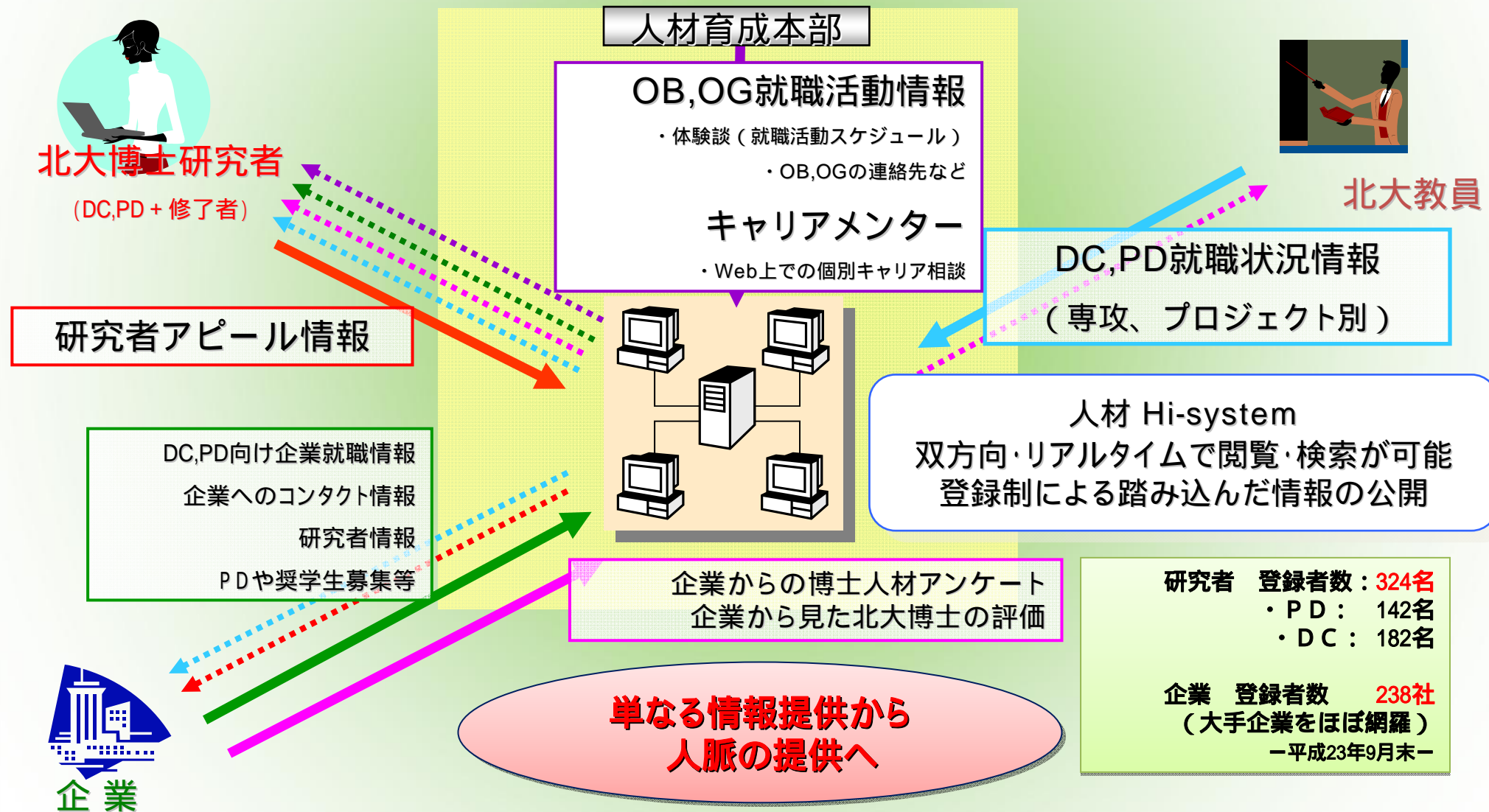
- ・幕見の会(本活動の常連企業約20社)との意見交換会
- ・東京同窓会、関西同窓会、連合同窓会との意見交換会



教育研究部局における博士課程カリキュラム改革推進
< 先端生命科学研究院 >

人材Hi-system 双方向意識改革Web
(Hokudai Interactive Career Development System)

(会員制、DC,PD向け、アクセス件数：約12万件/年)



キャリア形成パートナーシップ(緑の会、赤い糸会)

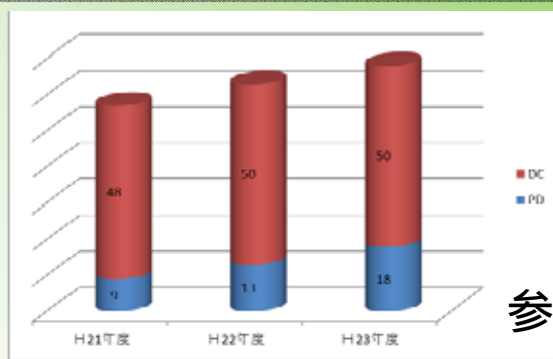
企業との交流・人脈形成プログラム
H23年度より大学院共通科目(単位化)

内容

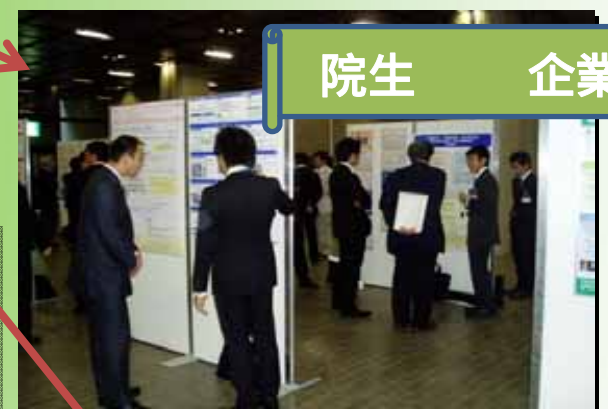
- ・企業 院生 (技術/人事:プレゼン)
- ・院生 企業 (ポスターセッション)
- ・院生 企業 相互 (企業ブース個人面談)
- ・懇親会

企業との直接交流・インターンシップマッチング

3回/年 (札幌2回、東京1回)
企業:15社(人事担当、研究担当部長クラス)
研究者:30名程度



参加者数



中期間インターンシップ

実践プログラム

博士力実践 インターンシップ

国内外企業などで実務経験(他流試合)
個々のプログラム内容は企業と協議
専門領域以外の内容を含む
期間は3ヶ月以上～1年以内
受け入れ企業・学内メンター及び育成対象者による事後評価
滞在費、渡航費は原則支給

キャリア形成 パートナーシップ



・緑の会: キャリアパス活動(企業との交流・人脈形成)
フィードバック活動(インターンシップ報告会 等)
・キャリアマネジメントセミナー